

2 ユネスコ協会設立状況

協会名	会長名	事務局	事務局長	設立年月日
須賀川地方ユネスコ協会	安藤四加男	須賀川市生涯学習課 須賀川市八幡町135	熊田 周夫	46. 9. 3
いわきユネスコ協会	赤津 千町	いわき市生涯学習課 いわき市平字梅本21	柳沼 美枝	51.10.23
郡山ユネスコ協会	佐藤 信	朝日生命福島支社 郡山市駅前2-2-2	小松 哲夫	53. 1.24
白河ユネスコ協会	深谷 健夫	白河市社会教育課 白河市八幡小路7-1	小針 一郎	53.11.19
福島ユネスコ協会	折笠興四郎	福島市中央公民館 福島市松木町1-7	松井 和夫	55. 7.19
会津ユネスコ協会	大須賀正美	会津若松市社会教育課 会津若松市栄町5-20	高田 陽子	55.11.16
相馬ユネスコ協会	泉田 泰子	相馬市社会教育課 相馬市中村字大手先13	橋本 敏子	63. 7.15
福島県ユネスコ連絡協議会	折笠興四郎	福島県社会教育課 福島市杉妻町2-16	松井 和夫	56.12. 5

3 ユネスコ活動指導者研究協議会

- (1) 期 日 平成3年7月25日(木)
 (2) 会 場 喜多方プラザ
 (3) 参加者数 ユネスコ活動関係者、社会教育関係者、ユネスコ活動に関心のある者 121人

4 国際交流活動研修会

- (1) 期 日 平成3年11月12日(火)
 (2) 会 場 白河市文化センター
 (3) 参加者数 社会教育関係者、学校教育関係者、国際交流事業関係者 183人

第5節 家庭教育

1 概 要

家庭は、生活の基盤であると同時に、生涯にわたる人間形成の育成や基本的な生活習慣を培う上で極めて重要な役割を担っている。

改めて家庭教育の重要性を認識し、家庭や地域のもつ教育機能の回復とその向上を図るため、家庭教育に関する学習機会の拡充を図るとともに、家庭教育指導者の育成や適切な情報の提供並びに相談体制の充実に努めた。

第一に、家庭教育学級では、1小学校区に1学級の開設を目指し、特に明日の親や思春期の子どもをもつ親のための学級の充実に努めた。

第二に、「のびゆく福島っ子」家庭教育充実事業を実施しとりわけ、乳幼児期から青少年期の子どもや親等を対象に、すくすく通信の作成。子育てセミナー及び巡回相談の実施、また、家庭教育電話相談の開設と充実に努めた。さらに、指導者を対象として、家庭教育指導者研究協議会の実施、家庭教育指導資料の作成に取り組んだ。

2 「のびゆく福島っ子」家庭教育充実事業

- (1) 協力機関 市町村教育委員会、保健所、福島テレビ等
 (2) 実施期間 平成3年4月～4年3月
 (3) 研究主題 「家庭と地域の教育機能」
 ～社会の変化と家庭や地域の役割～
 (4) 事業内容
 ① 企画推進委員会
 「のびゆく福島っ子」家庭教育充実事業の企画・運営並びに評価・反省を行う。

企画推進委員

氏 名	役 職 名	備 考
西久保 禮 造	福島大学教育学部教授	◎ ○
小 野 直 廣	福島大学教育学部教授	
松 崎 博 文	福島大学教育学部助教授	
樋 口 勝 也	桜の聖母短期大学教授	
渡 辺 俊 彦	福島女子短期大学教授	○
関 口 はつ江	郡山女子大学短期大学教授	○
大 関 太 朗	福島テレビ編成局長	
遠 藤 正 俊	富士病院副院長	
山 川 和 二	元公立学校長	
加 藤 一 夫	県立医科大学助教授	○
鈴 木 美保子	須賀川保健所長	○
朽 木 耕 作	県教育センター教育相談部長	
関 本 道 子	県義務教育課指導主事	
七 島 征	県社会教育課主幹	

◎印 委員長 ○印 すくすく通信委員を兼ねる